



# 第61期 報告書

平成26年1月1日から平成26年12月31日まで



## CONTENTS

P 1 ~ P 2 株主の皆様へ

---

P 3 販売品目

---

P 4 連結財務諸表

---

P 5 会社データ

---

P 6 株式情報

---

清和中央ホールディングス

# 株主の皆様へ

存在感ある鉄鋼流通企業を目指し、さらなる企業価値の向上に努めます。



平成27年3月

代表取締役社長  
阪上 正章

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社第61期（平成26年1月1日から平成26年12月31日まで）の決算が終了しましたので、その概況をとりまとめ、ここに「第61期報告書」をお届け申し上げます。

株主の皆様には、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 当期の事業環境及び成果について

当連結会計年度におけるわが国経済は、4月の消費税引き上げに伴う駆け込み需要があり、消費税引き上げ以降の反動の影響が長引いているものの、政府の経済政策により企業収益は堅調を維持し、年終盤にはやや停滞感もありましたが、総じて国内景気は緩やかな回復基調となりました。一方、国際経済は、米国の回復は続きましたが、欧州は足踏み状態となり、中国経済は減速、新興国経済の成長は鈍化しました。

鉄鋼業界におきましては、年前半は一昨年後半からの建設需要拡大基調の流れに加え、一部消費税引き上げに伴う仮需もあって、前年を上回る水準を維持しましたが、年後半は4月の消費税引き上げに伴う個人消費、住宅投資の反動減の影響が長引いたことに加えて、人手不足による実需の先送りや前年の高すぎた建設需要の反動もあって停滞感が漂い、前年実績を下回る水準に落ち込みました。年間を通しては、鉄鋼内需はほぼ前年水準に納まる結果となりました。また、国内鉄鋼価格については、鉄鉱石や石炭などの原材料価格の下落基調が続き、円安がその影響を緩和してきましたが、スクラップ価格もやや下落基調となり、総じて鉄鋼価格は軟調な展開となりました。

このような経営環境下において、当社グループは、仕入面においては在庫の適正化に注力し、販売面においては販売量の確保と販売価格の設定に重点を置き、きめ細かく営業活動を展開してまいりました結果、当連結会計年度の売上高は、516億41百万円(前年同期比15.0%増)、営業利益は8億21百万円(前年同期比6.4%減)、経常利益は8億79百万円(前年同期比7.5%減)、法人税等を差引いた当期純利益は、5億78百万円(前年同期比34.5%減)の増収減益となりました。

## 今後の課題について

今後のわが国経済の見通しは、アベノミクス経済政策の継続が見込まれ、今後も様々な景気刺激策が取られていくことを背景に、企業の設備投資意欲はまだ旺盛であり、落ち込んでいる個人消費も徐々に回復してくるものと思われます。ただ、堅調な米国経済を除く海外景気の下振れ懸念は、我が国の景気を下押しするリスクとなります。

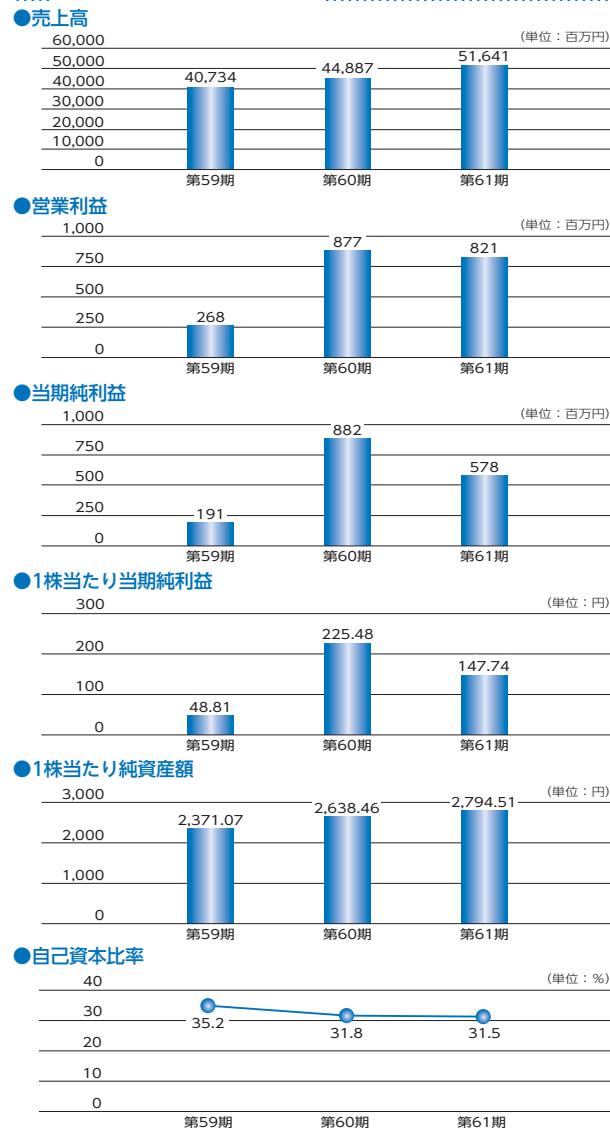
鉄鋼業界におきましては、自動車業界の国内生産の回復には懸念が残るものの、その他建築、建設需要、造船、各種産業機械、工作機械等は今年度も堅調な動きが期待され、年間での鉄鋼内需は昨年度並みか、若干の増加が期待されます。

一方、鋼材価格については、まだ値下がり基調が続くと予想され、業界における競合業者間での競争はさらに激しくなるものと思われます。

当社グループといたしましては、かかる環境に対応すべくさらに経営基盤を強化し、存在感ある企業を目指します。

- ① 為替動向に留意し、国際化した鉄鋼市況の変動に素早く対応すべく、短期対応でのきめ細かい在庫調整に努めます。
- ② 取引先のニーズを的確に把握して、「必要なときに」「必要なものを」「必要な量だけ」を迅速かつ確実に提供できるきめ細かい営業体制を一層充実し、既存取引先におけるシェアアップ、新規取引先の拡大を図ります。
- ③ 運賃・荷役費用等の合理化を推進し、一層のコスト削減を図ります。
- ④ 与信管理を徹底し、不良債権の発生を未然に防止するように努めます。
- ⑤ 企業の成長維持のために、次世代を担う人材の育成に力を入れ、戦力強化に努めます。

## 連結財務ハイライト



### 各種鋼材の供給から多種多彩な加工まで



H形鋼



カラーC形鋼



鋼板



コラム



平鋼



軽量H形鋼



異形棒鋼



構造用鋼



特殊鋼



山形鋼



溝形鋼



レール



溶断



開先機



切断機

### 鉄鋼製品

H形鋼	H形鋼 外法一定H形鋼 極厚H形鋼 ビルドH形鋼
一般形鋼	等辺山形鋼 不等辺山形鋼 溝形鋼 I形鋼 レール
平・角鋼	平鋼 ワイドフラット カバープレート 角鋼
鋼板	薄板 中板 厚板 高張力鋼板 冷延鋼板 表面処理鋼板 亜鉛鋼板 縞鋼板 酸洗鋼板 SC鋼板 エキスパンドメタル パンチングメタル アルミニウム
軽量形鋼	C形鋼 (カラー・メッキ・黒皮) DP・KP (カラー・メッキ・黒皮) 合成床板 軽量H形鋼 軽量溝形鋼
鋼管	コラム 丸パイプ 角パイプ (カラー・メッキ・黒皮)
鉄筋	異形棒鋼 伸鉄丸鋼
構造用鋼	普通鋼 特殊鋼 (SC・SCM) 非調質強靱鋼 CH材 磨棒鋼 (丸・平・角) パーインコイル
ステンレス	鋼板 丸鋼 平鋼 形鋼 パイプ

### 加工

H形鋼寸法切り コラム寸法切り 開先加工 構造用丸鋼寸法切り 曲げ加工 メッキ加工 切板 鍛造 機械加工 製缶加工  
プラント製造 鉄骨梁加工 その他

### 工事関係

鉄骨工事 鉄筋工事 ALC工事 建築工事全般

# 連結財務諸表

## Consolidated Financial Statements

### 〔連結貸借対照表〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 平成25年12月31日現在	当期 平成26年12月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	23,252	25,302
固定資産	9,205	9,409
有形固定資産	7,433	7,403
無形固定資産	108	128
投資その他の資産	1,663	1,878
資産合計	32,458	34,711
<b>負債の部</b>		
流動負債	19,741	21,365
固定負債	2,204	2,213
負債合計	21,945	23,578
<b>純資産の部</b>		
株主資本	9,841	10,341
資本金	735	735
資本剰余金	601	601
利益剰余金	8,528	9,029
自己株式	△25	△25
その他の包括利益累計額	490	601
その他有価証券評価差額金	490	601
少数株主持分	180	190
純資産合計	10,512	11,132
負債及び純資産合計	32,458	34,711

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 〔連結損益計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで)	当期 (平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで)
売上高	44,887	51,641
売上原価	40,578	47,223
売上総利益	4,308	4,418
販売費及び一般管理費	3,430	3,596
営業利益	877	821
営業外収益	118	117
営業外費用	45	59
経常利益	950	879
特別利益	107	—
税金等調整前当期純利益	1,057	879
法人税、住民税及び事業税	69	319
法人税等調整額	83	△28
少数株主損益調整前当期純利益	904	589
少数株主利益	21	10
当期純利益	882	578

### 〔連結キャッシュ・フロー計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで)	当期 (平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△146	469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△805	△224
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,182	103
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	230	347
現金及び現金同等物の期首残高	942	1,172
現金及び現金同等物の期末残高	1,172	1,519

### 【会社概要】

(平成26年12月31日現在)

商号 清和中央ホールディングス株式会社  
 本社 大阪市西区九条南三丁目1番20号  
 設立 昭和29年3月  
 資本金 7億3,580万円  
 従業員数 12名 (連結従業員数：184名)

主要な事業内容 当社グループは、当社および子会社6社で構成され、鋼材の卸売を主な事業内容としており、当事業に関連する加工、請負工事、荷役業務、さらに不動産賃貸事業も行っております。

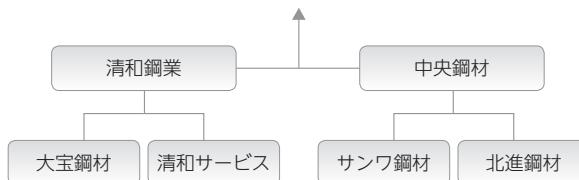
### 【役員】

(平成26年12月31日現在)

代表取締役社長 阪上正章  
 常務取締役 阪上恵昭 管理本部長  
 取締役 西本雅昭 管理本部副本部長  
 取締役 後藤信三  
 常勤監査役 上山公  
 監査役 杉本武 税理士  
 監査役 八木千之

- (注) 1. 監査役上山公、杉本武の両氏は、社外監査役であります。  
 2. 監査役上山公氏は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。  
 3. 監査役杉本武氏は、税理士の資格を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。

### 【清和中央ホールディングス組織図】



### ■ 連結子会社

#### 清和鋼業株式会社

〒550-0025 大阪市西区九条南3-1-20 TEL：06-6581-2131

#### 中央鋼材株式会社

〒279-0012 千葉県浦安市入船1-5-2 NBF新浦安タワー 6階  
 TEL：047-709-4300

(注) 平成27年1月1日付をもって、中央鋼材株式会社は、本社と関東支店を統合の上、東京都中央区へ移転いたしました。

#### 大宝鋼材株式会社

〒550-0025 大阪市西区九条南3-28-23 TEL：06-6581-2205

#### 清和サービス株式会社

〒590-0901 堺市堺区築港八幡町1-29 TEL：072-232-7300

### ■ 非連結子会社

#### サンワ鋼材株式会社

〒306-0204 茨城県古河市下大野2000 TEL：0280-92-2111

#### 北進鋼材株式会社

〒131-0041 東京都墨田区八広2-53-6 TEL：03-3611-7161

### 【株式情報】 (平成26年12月31日現在)

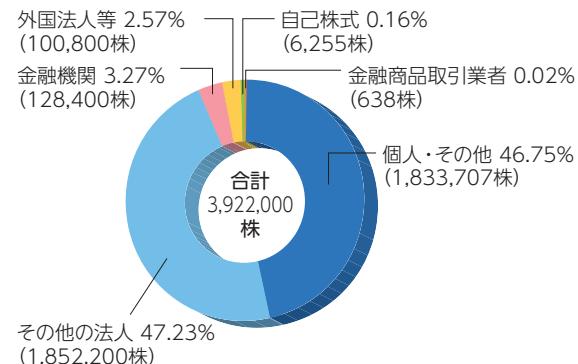
- 1) 発行可能株式総数 12,000,000株
- 2) 発行済株式の総数 3,922,000株
- 3) 株主数 231名
- 4) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
エスケー興産株式会社	495,800株	12.66%
阪上 正章	440,380	11.25
新日本工機株式会社	316,000	8.07
阪上 恵昭	281,600	7.19
阪上 寿美子	248,600	6.35
大和製罐株式会社	223,500	5.71
株式会社ワイエムピー	214,500	5.48
山口 久一	119,600	3.05
加藤 匡子	115,700	2.95
小田 宏雄	104,300	2.66

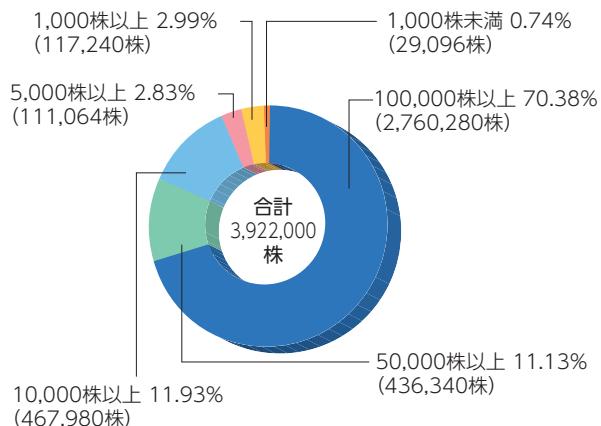
(注) 持株比率は自己株式(6,255株)を控除して計算しております。

### 【株式分布状況】 (平成26年12月31日現在)

#### ■所有者別株式分布状況



#### ■所有株式数別株式分布状況



# 株主メモ

## 事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

## 期末配当金受領株主確定日

毎年12月31日

## 中間配当金受領株主確定日

毎年6月30日（中間配当を実施する場合）

## 定時株主総会

毎年3月

## 株主名簿管理人

### 特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

## 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777（通話料無料）

## 上場証券取引所

東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード）

## 公告の方法

### 電子公告

公告掲載URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>

（ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）

### （ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内

### トップページ



### IR情報

